

ベビーロック

EXCIM

BL3-408型

ご使用のてびき

株式会社 ジューキ



交換ルーパー詳細図

押え調節ネジ

切換糸案内

上メスロックネジ

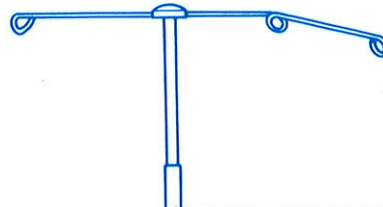
上メス

針板

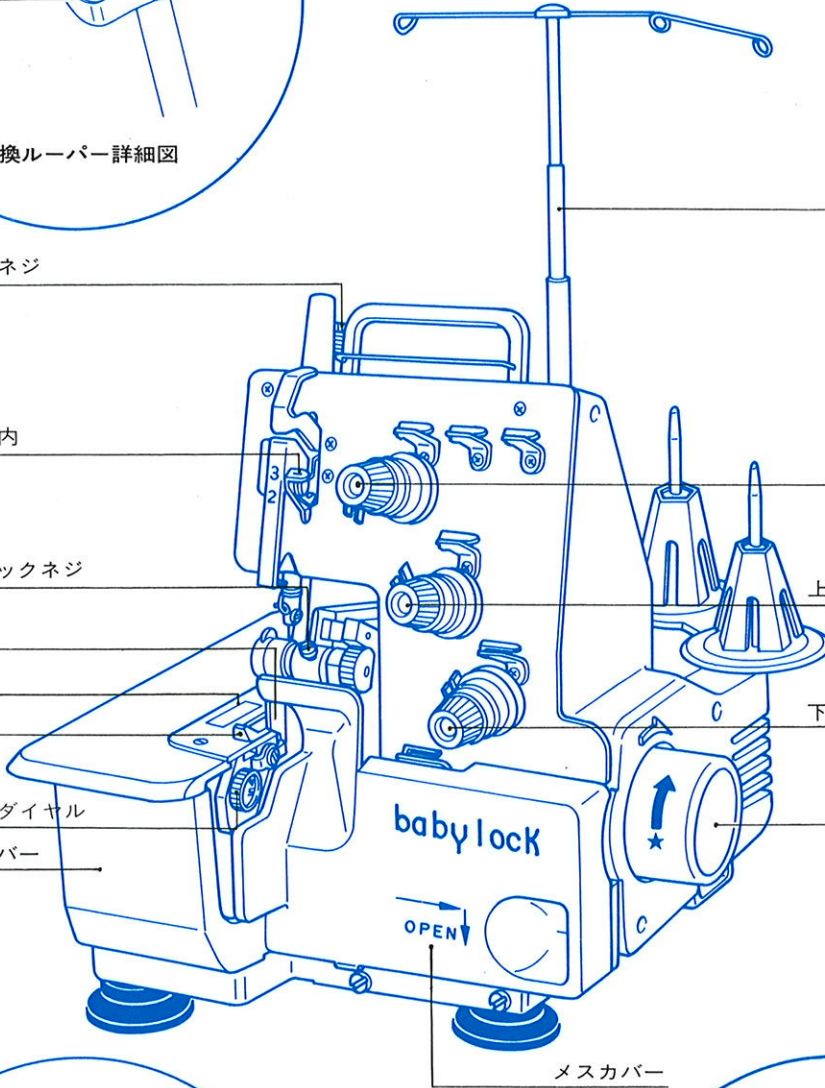
押え金

イージーダイヤル

下側面カバー



糸立棒



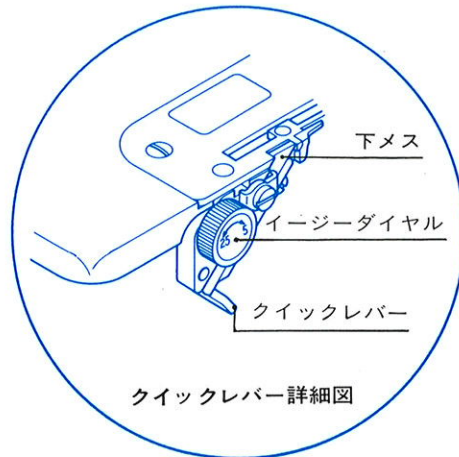
針糸調子器

上ルーパー糸調子器

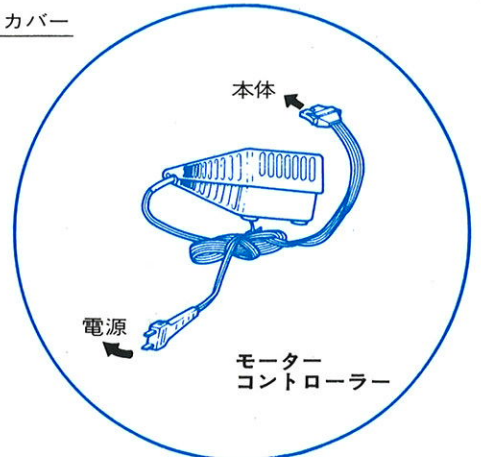
下ルーパー糸調子器

はずみ車

メスカバー



クイックレバー詳細図



※安全のため使用後は電源プラグを抜いてください。
また、コントローラーの上に物をのせないでください。

はじめに

このたびは、ベビーロック BL3-408型[®]エクシム[®]をお買い上げくださいます。ありがとうございます。

このミシンは3本糸普通ロック・2本糸普通ロック及び3本糸巻きロック・2本糸巻きロックの機能を備え、薄物から厚物まで巾広く縫う事が出来るロックミシンの最高機種です。

このたびきをよく読んで、正しく末永くご愛用ください。

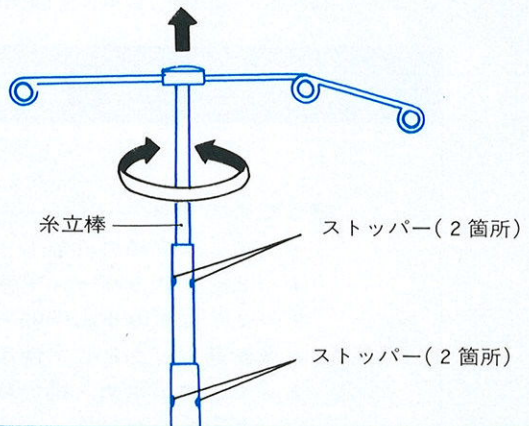
目 次

1. 縫うための準備	2
1-1. 糸立棒のセット	2
1-2. メスカバー・下側面カバーの開け方	2
1-3. はずみ車の回転方向と針最下点位置	2
2. 3本糸普通ロックとして使用する場合	3
2-1. 縫い始め・縫い終わり	3
2-2. 糸のかけ方	4
2-3. 3本糸普通ロックの場合の各部のセット	5
2-4. 糸調子器の操作	6
2-5. 3本糸普通ロックの糸調子のとり方	7
3. 3本糸普通ロック・3本糸巻きロック } の切換操作	8
2本糸普通ロック・2本糸巻きロック }	
3-1. 3本糸・2本糸の切換操作	8
3-2. 普通ロック・巻きロックの切換操作	9
4. 3本糸巻きロックとして使用する場合	10
4-1. 3本糸巻きロックの場合の各部のセット	10
4-2. 3本糸巻きロックの糸調子のとり方	10
5. 2本糸普通ロックとして使用する場合	12
5-1. 2本糸普通ロックの場合の各部のセット	12
5-2. 2本糸普通ロックの糸調子のとり方	12
6. 2本糸巻きロックとして使用する場合	13
6-1. 2本糸巻きロックの場合の各部のセット	13
6-2. 2本糸巻きロックの糸調子のとり方	13
7. 使用糸と簡単な糸交換	14
7-1. 使用糸	14
7-2. 簡単な糸交換	14
8. かがり幅の調節	15
9. 補助押えの調節	16
10. 極厚物・段縫いについて	16
11. 押え圧力の調節	16
12. 送り目の調節	17
13. 針の交換	17
14. メスの交換	18
14-1. 下メスの取りかえ方	18
14-2. 上メスの取りかえ方	18
15. 注油について	19
16. 点検と調整	19
17. 布地と糸の関連表	20

1 縫うための準備

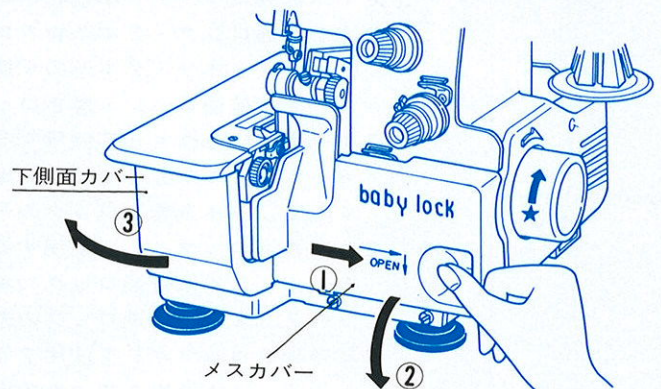
1-1 糸立棒のセット

- ① 糸立棒をいっぱい伸ばす。
- ② 糸立棒を回転させてストッパーで位置決めする。



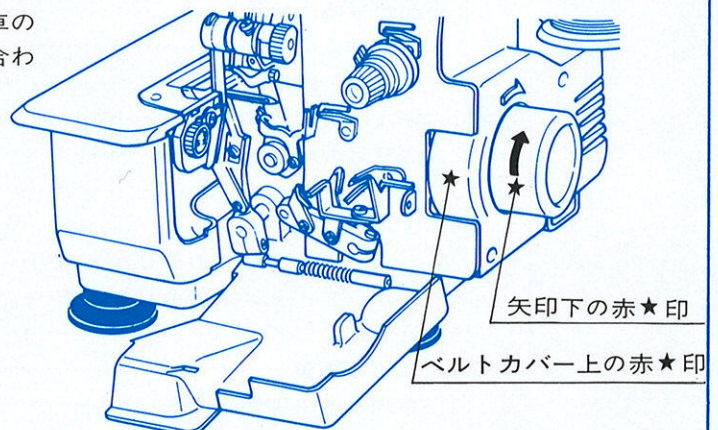
1-2 メスカバー・下側面カバーの開け方

- ① メスカバーを右へいっぱい引く。
- ② 右へ引いたままメスカバーを手前に倒す。
- ③ 下側面カバーを左へ開ける。



1-3 はずみ車の回転方向と針最下点位置

- ① はずみ車は矢印方向に回転する。
- ② 針最下点位置は、メスカバーを開け、はずみ車の矢印下の赤★印とベルトカバー上の赤★印を合わせる。

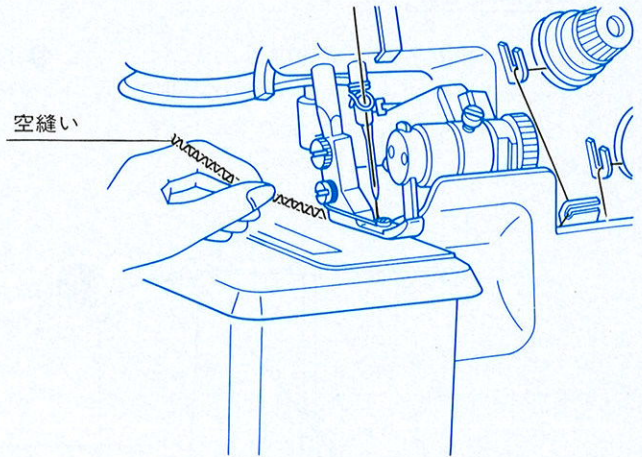


2 3本糸普通ロックとして使用する場合

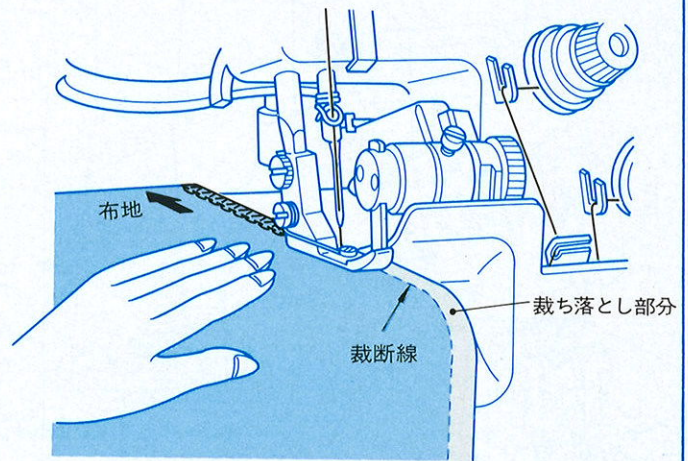
このミシンはあらかじめ、3本糸普通ロック用としてセットされておりますので、そのままご使用になります。

2-1 縫い始め・縫い終わり

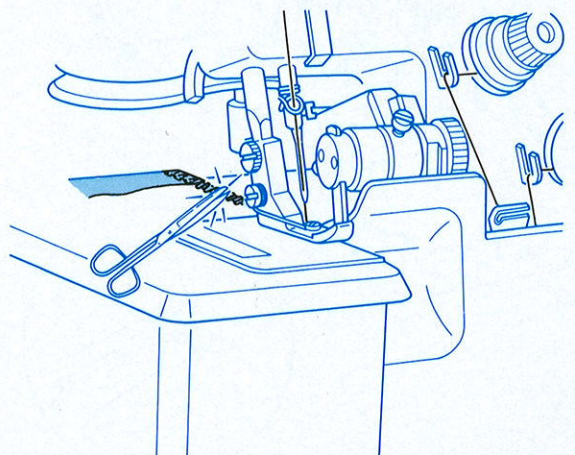
- ① あらかじめセットされている糸の空縫いを左手で少し張りぎみにつまむ。
- ② 右手ではずみ車を矢印方向に2～3回まわし、糸のからみ具合を確認する。



- ③ 布地の裁断線を針板の右端に合わせて縫いはじめる。



- ④ 縫い終わりは布地の端から2～5cm長く空縫いをして、切る。



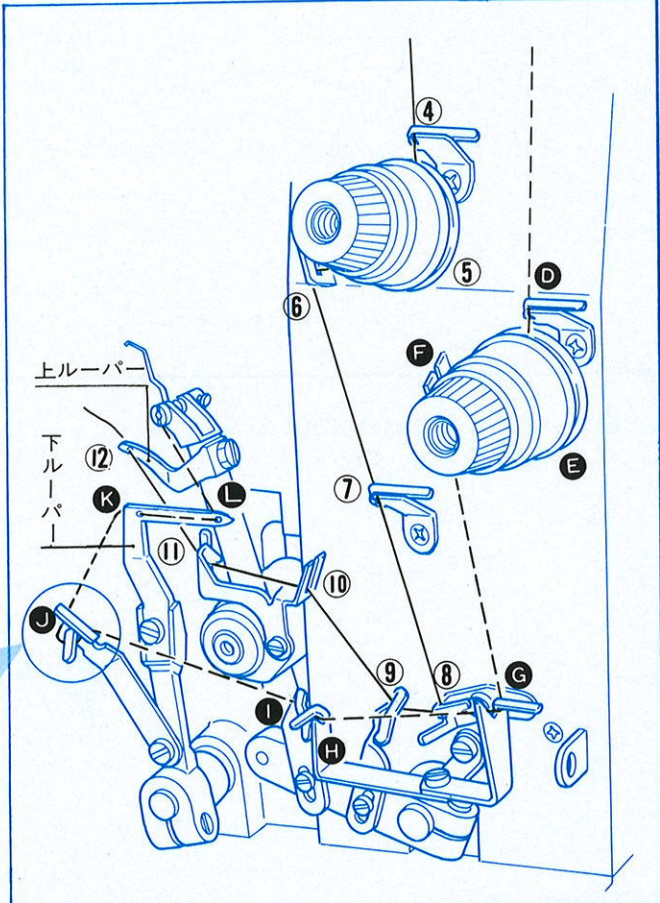
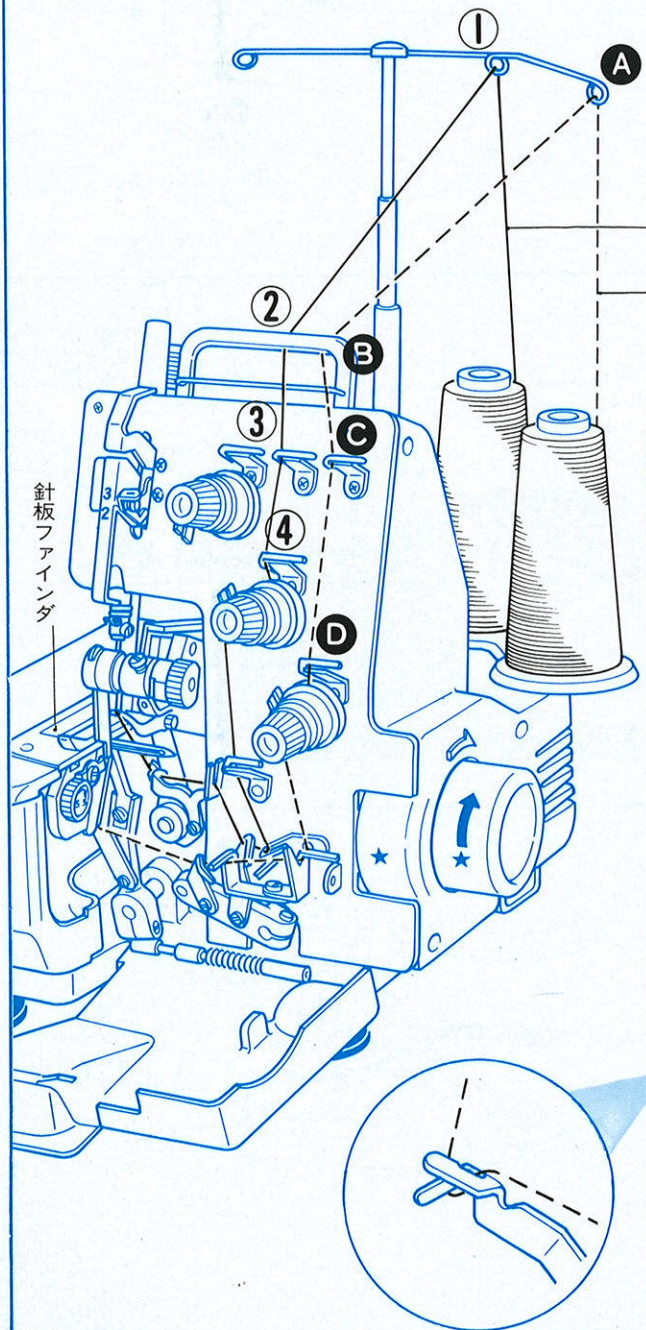
2-2 糸のかけ方

このミシンはあらかじめ糸がセットされておりますが、糸のかけ方をまちがえますと、正しい裁縫ができませんので、以下の通り正しくかけてください。
 なお、下側面カバーを左に開けますと、糸かけ案内図が貼付してありますのでご参照ください。

ルーパー部の糸のかけ方

- ①メスカバー・下側面カバーを開ける。
- ②上ルーパー糸（黄色マーク）を①②③…順にかける。上ルーパー糸は、押え金の下から約10cm引き出す。

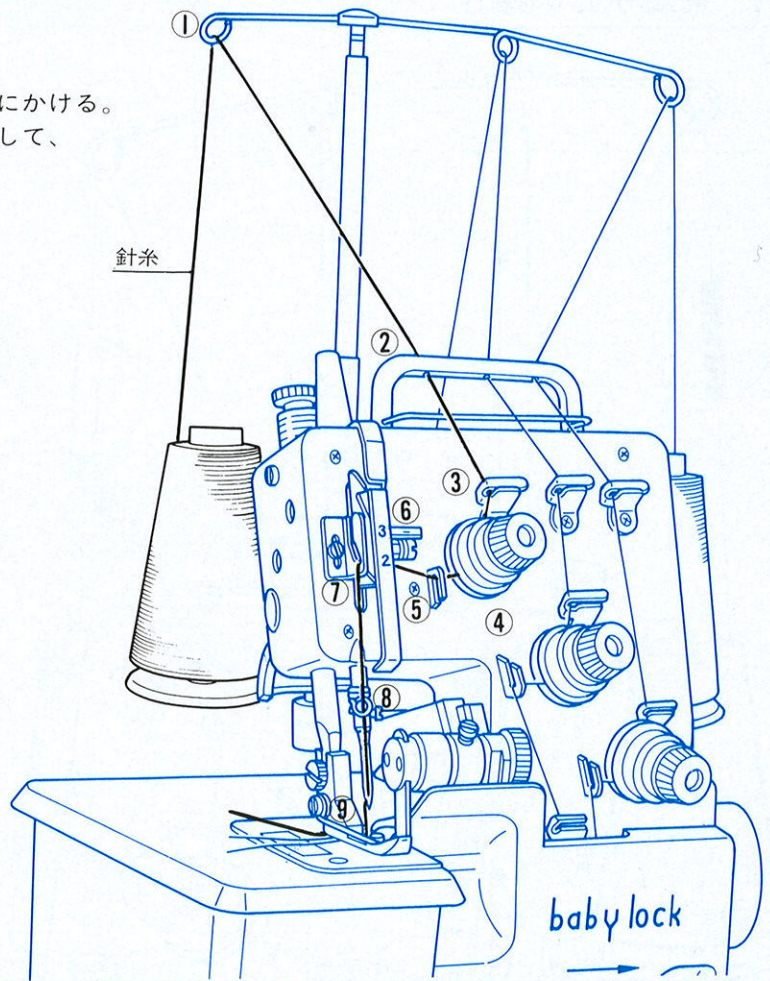
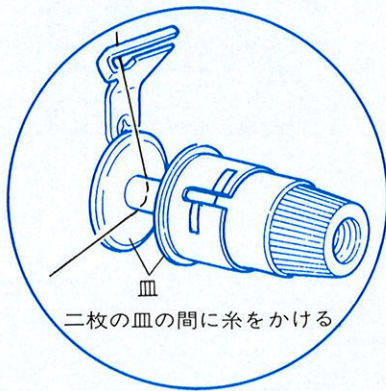
- ③下ルーパー糸（緑色マーク）をA・B・C・順にかける。
 - ・下ルーパーに糸を通す場合は、はずみ車を矢印方向に回し、下ルーパーをいちばん左にし、針板ファインダーごしに、下ルーパー糸案内Jと、下ルーパー糸穴Kに通す。
 - ・次に下ルーパーをいちばん右にして、下ルーパー糸穴Lに糸を通す。
 - ・下ルーパー糸は、押え金の下から約10cm引き出す。
 - ・メスカバー・下側面カバーを閉める。



上ルーパー糸
 下ルーパー糸

針糸のかけ方

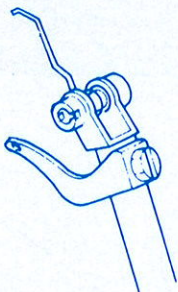
- 針糸（朱色マーク）を①②③…順にかける。
- 針穴には手前側から向こう側に通して、押え金の下から約10cm引き出す。



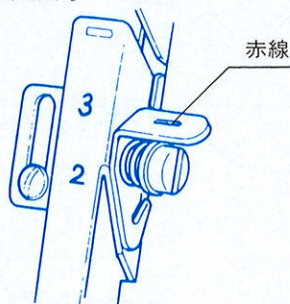
2-3 3本糸普通ロックの場合の各部のセット

このミシンはあらかじめ3本糸普通ロック用として下図のように各部がセットされております。

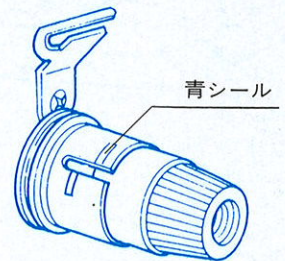
①交換ルーパー



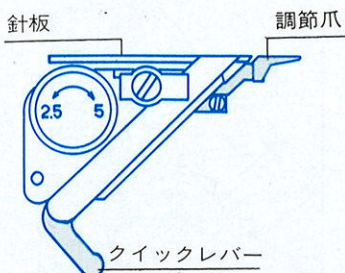
②切換糸案内



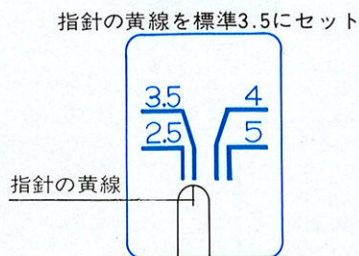
③糸調子ツマミ



④クイックレバー

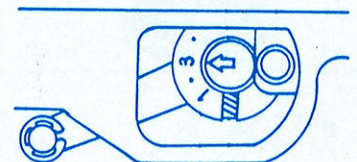


⑤かがり幅指針



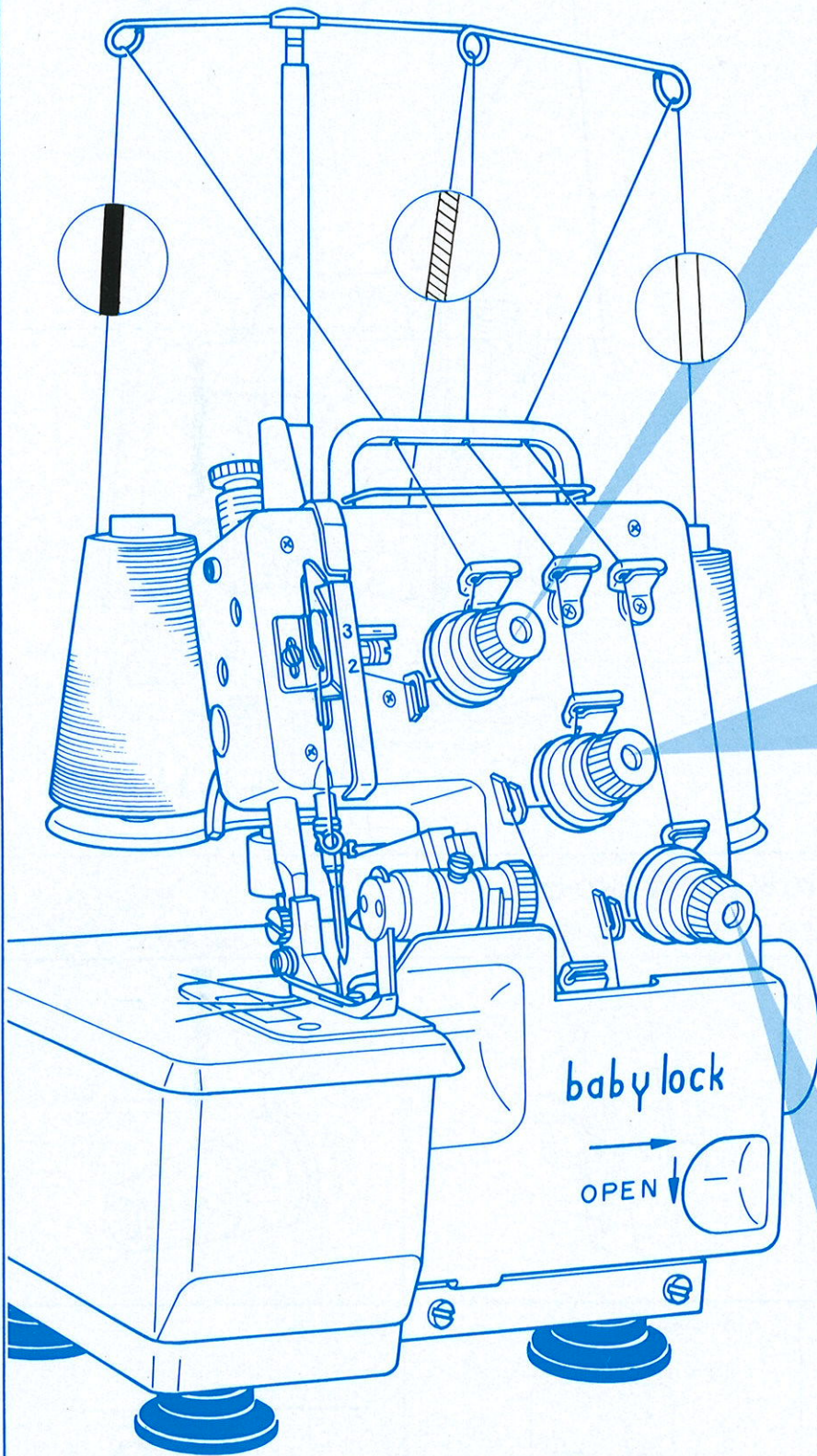
かがり幅の調節はP15参照

⑥送り目

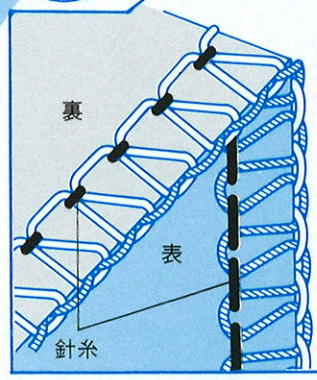


送り目の調節はP17参照

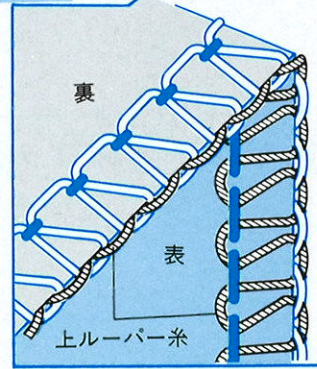
2-4 糸調子器の操作



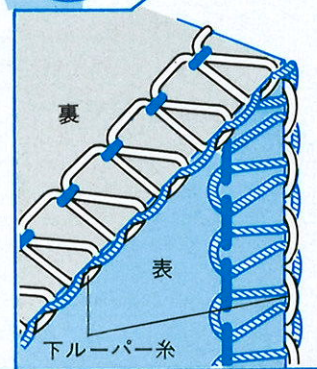
針糸調子器



上ルーバー糸調子器



下ルーバー糸調子器



各糸調子器は
 ・右へ回わすと糸が締まる
 ・左へ回わすと糸がゆるむ

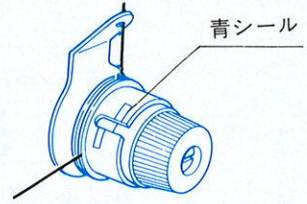
弱(糸がゆるむ)

強(糸が締まる)

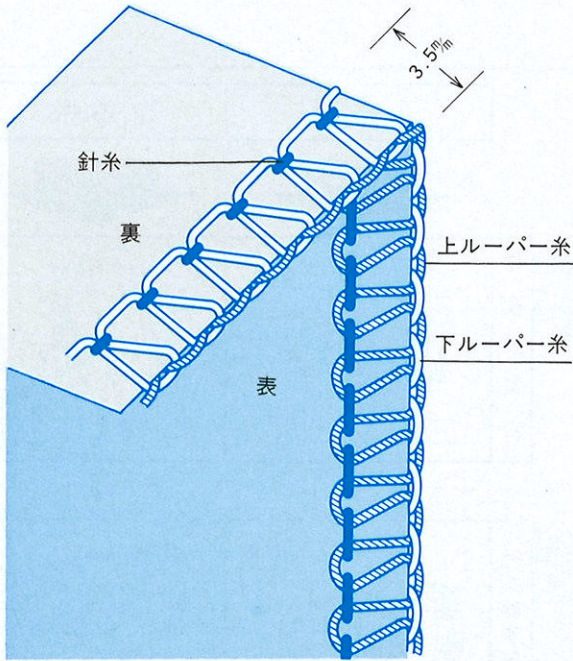
2-5 3本糸普通ロックの糸調子のとり方

糸調子のとり方は布地の種類や使用糸の太さ、種類によっても異なりますのでそのつど縫い目を見ながら各糸調子器で調節してください。

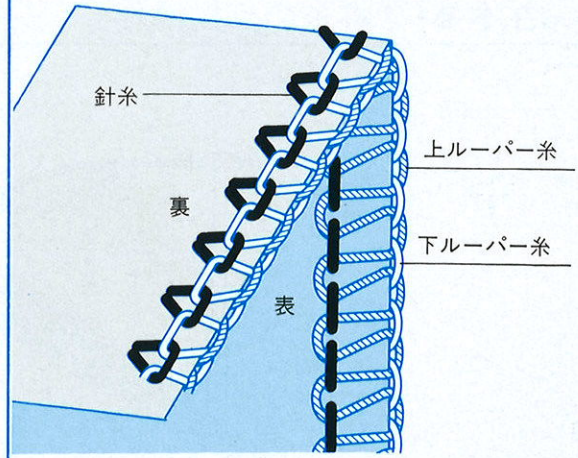
まず、各糸調子器を青シール中央に合わせてから縫い目を見て微調整してください。



美しいかがり目



●針糸が弱い場合



強める



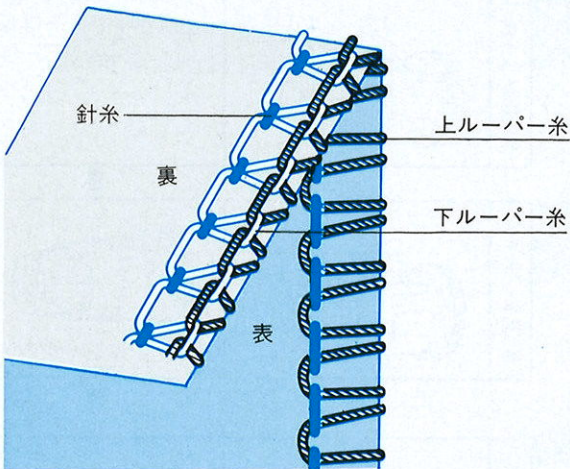
そのまま



そのまま



●上ルーバー糸が弱い・又は下ルーバー糸が強い場合



そのまま



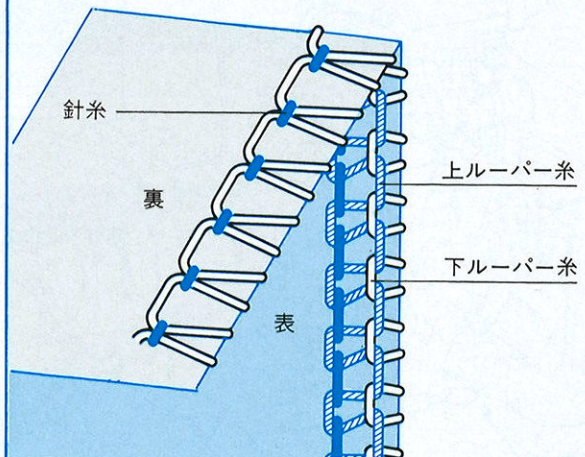
強める



弱める



●下ルーバー糸が弱い・又は上ルーバー糸が強い場合



そのまま



弱める

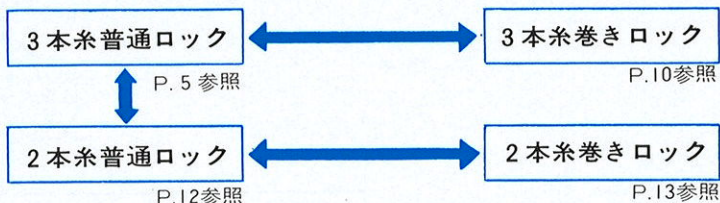


強める



3 3本糸普通ロック・3本糸巻きロックの切換操作 2本糸普通ロック・2本糸巻きロック

このミシンは、あらかじめ3本糸普通ロックとしてセットされておりますが、3本糸巻きロック又は2本糸普通ロック・巻ロックとしてご使用になる場合、下記の手順に従い、正しく切換操作してください。



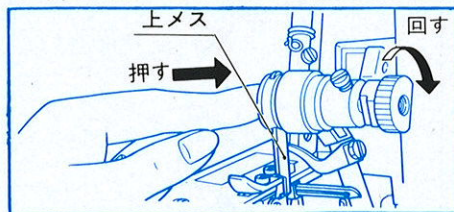
3-1 3本糸・2本糸の切換操作

	3本糸	2本糸
切換糸案内		
針糸調子器		
上ルーパー糸調子器		上ルーパー糸は使用しません。糸はルーパーの穴より抜く。
下ルーパー糸調子器		
交換ルーパー		

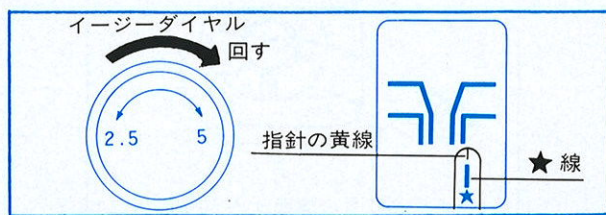
3-2 普通ロック・巻きロックの切換操作

(※メスカバーを開くと下記の手順シールが貼付されております。参照ください。)

- ①メスカバー・下側面カバーを開く。
- ②針及び押え金を上げ、針板爪の空環を外す。
- ③上メスを押しながら、上に回転させる。

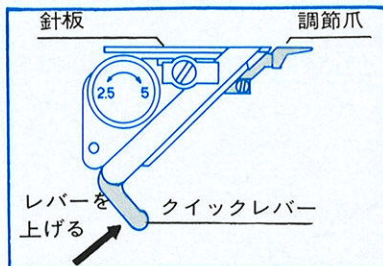


- ④はずみ車矢印下の赤★印をベルトカバー上の赤★印に合わせる。(針最下点)
- ⑤イーゼーダイヤルを「5」の方向に回わし、指針の黄線を★線に合わせる。

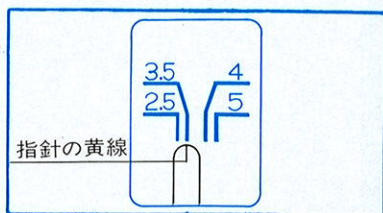


〔普通ロックの場合〕

- ⑥クイックレバーをパチンと音がするまで上にあげる。(調節爪先端が針板上面と一致)

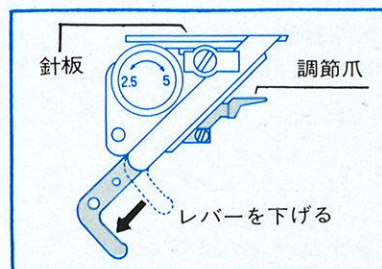


- ⑦イーゼーダイヤルを回わし、指針の黄線を「2.5～5」にセット。

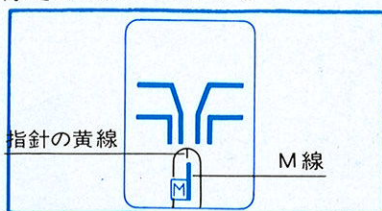


〔巻きロックの場合〕

- ⑥クイックレバーを下にさげる。



- ⑦イーゼーダイヤルを回わし、指針の黄線をM線にセット。



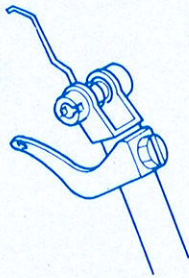
- ⑧上メスを元の位置に戻し、押え金を下げる。
- ⑨メスカバー・下側面カバーを閉める。

⑨・イーゼーダイヤルを回す時は、上メスが上に回転している事を確認。
 ・クイックレバーを操作する時は、針が最下点である事を確認。

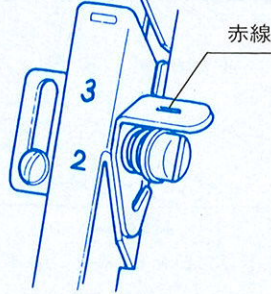
4 3本糸巻きロックとして使用する場合

4-1 3本糸巻きロックの場合の各部のセット

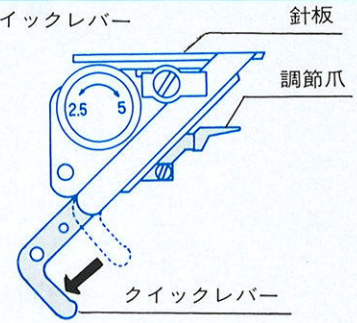
①交換ルーパー



②切換糸案内

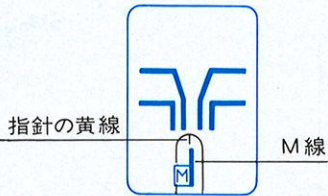


③クイックレバー



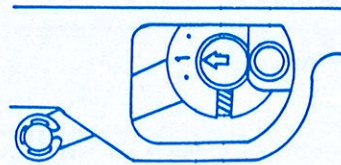
④かがり幅指針

指針の黄線をM線にセット



かがり幅の調節はPI5参照

⑤送り目



送り目の調節はPI7参照

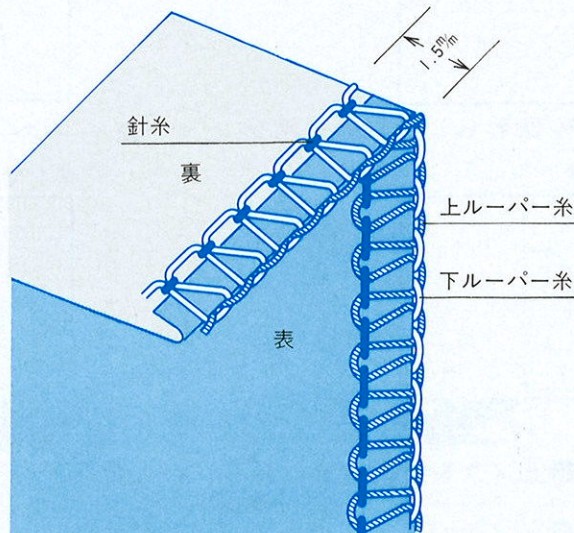
4-2 3本糸巻きロックの糸調子のとり方

3本糸巻きロックの場合、「標準巻きロック」と「変形巻きロック」の2通りの縫い方が出来ます。

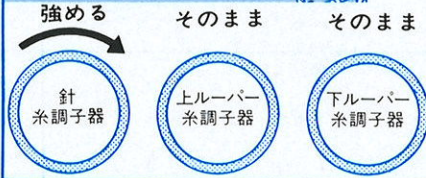
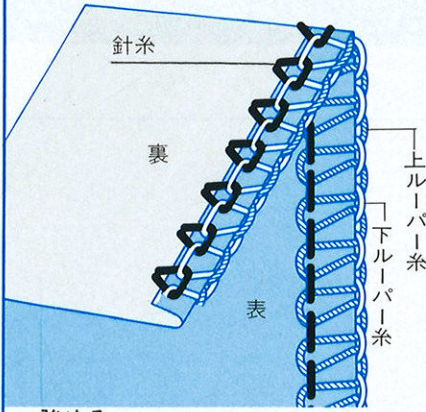
糸調子のとり方は布地の種類や使用糸の太さ、種類によっても異なりますのでそのつど縫い目を見ながら各糸調子器で調節してください。

又、「3本糸巻きロック」の場合、「3本糸普通ロック」の糸調子よりも全体的に強めに各糸調子器をセットしてください。

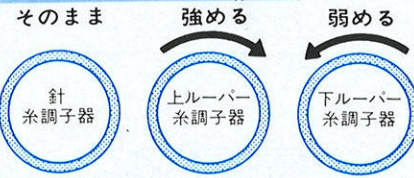
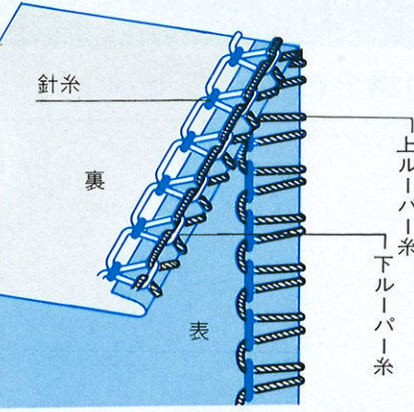
①標準巻きロックの場合



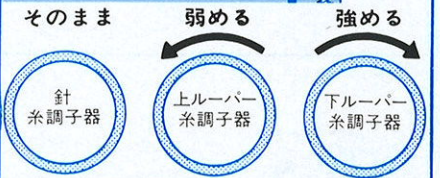
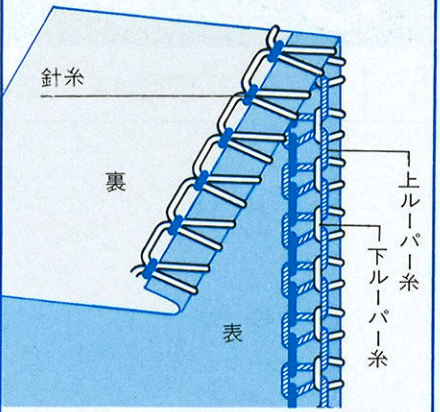
●針糸が弱い場合



●上ルーバー糸が弱い・
又は下ルーバー糸が強い場合

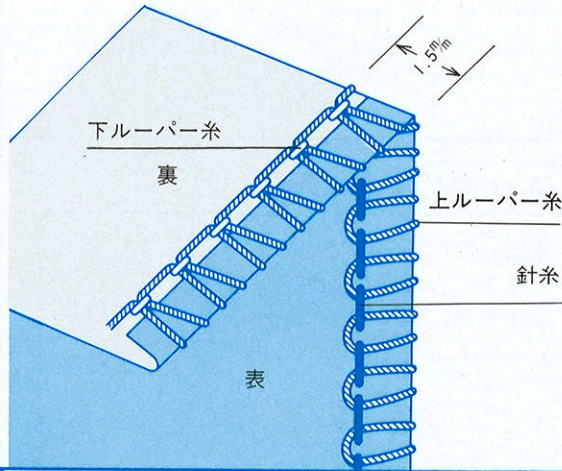


●下ルーバー糸が弱い・
又は上ルーバー糸が強い場合

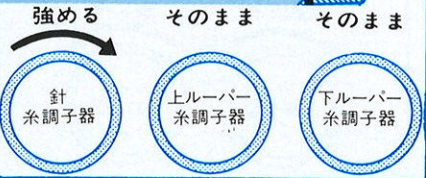
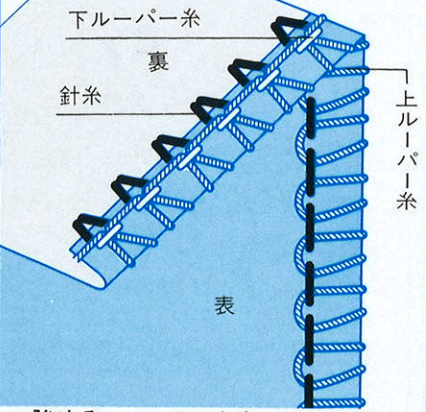


②変形巻きロックの場合

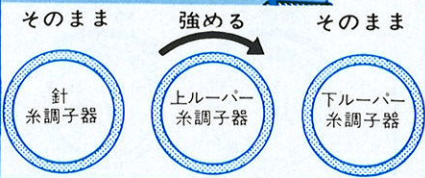
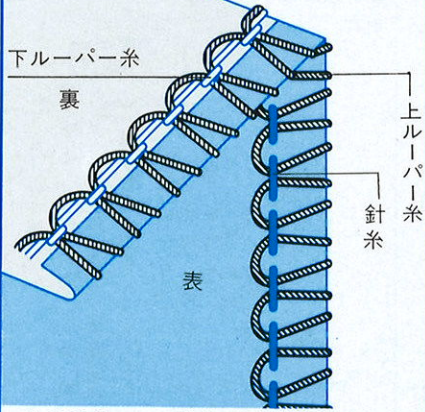
変形巻きロックは上ルーバー糸が裏側まで完全に巻き込んだ状態の縫い目となります。



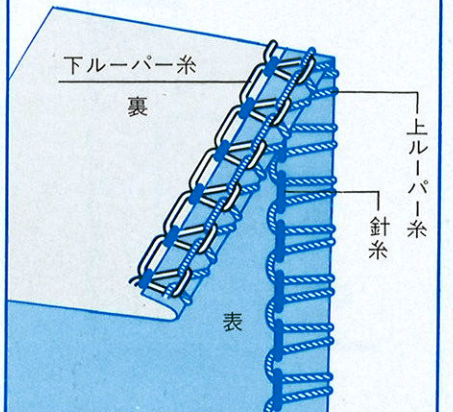
●針糸が弱い場合



●上ルーバー糸が弱い場合



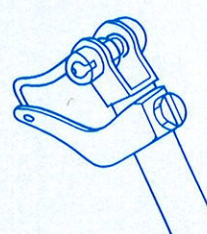
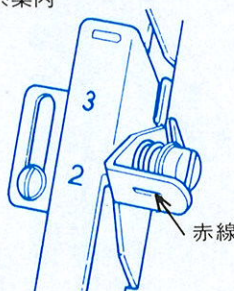
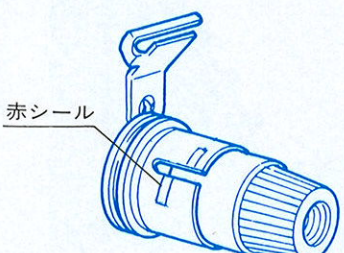
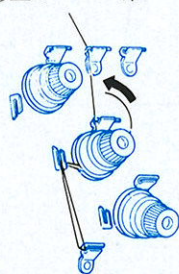
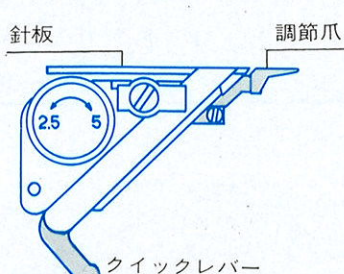
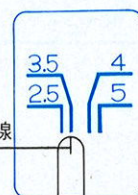
●下ルーバー糸が弱い・
又は上ルーバー糸が強い場合



5

2本糸普通ロックとして使用する場合

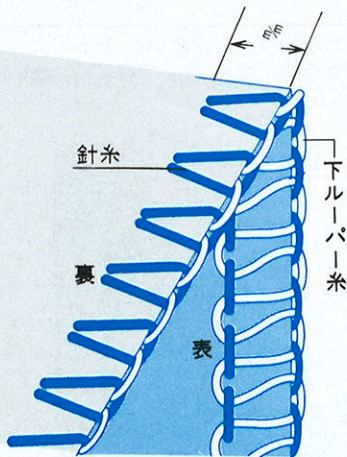
5-1 2本糸普通ロックの場合の各部のセット

<p>①交換ルーバー</p> 	<p>②切換糸案内</p> 	<p>③糸調子ツマミ</p> 
<p>④上ルーバー糸</p>  <p>2本糸の場合、上ルーバー糸は使用しない。上ルーバー糸を上ルーバーの所で切り、図の様に糸調子器にはさむ。</p>	<p>⑤クイックレバー</p> 	<p>⑥かがり幅指針</p> <p>指針の黄線を標準 3.5にセット</p>  <p>かがり幅の調節はP15参照</p>

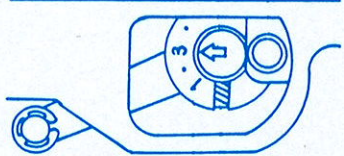
5-2 2本糸普通ロックの糸調子のとり方

糸調子のとり方は布地の種類や使用糸の太さ、種類によっても違いますのでそのつど縫い目を見ながら各糸調子器で調節して下さい。まず、各糸調子器を赤シール中央に合わせてから縫い目を見て微調整して下さい。

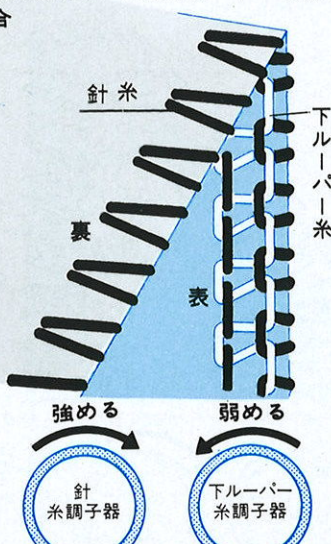
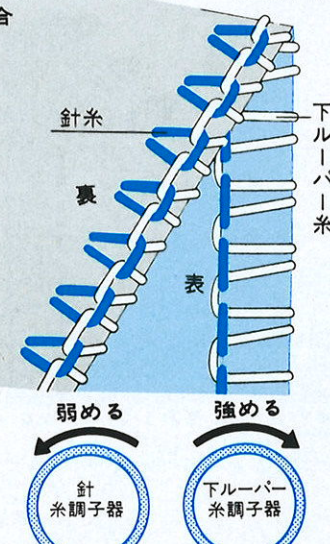
美しいかがり目



⑦送り目

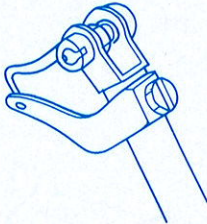
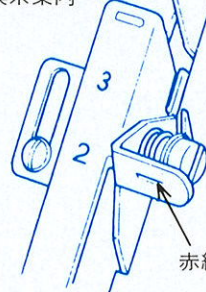
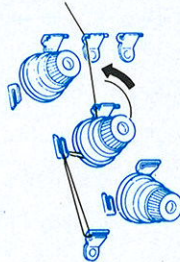
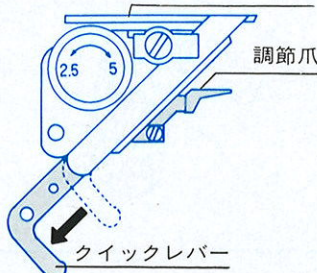
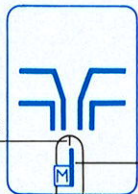
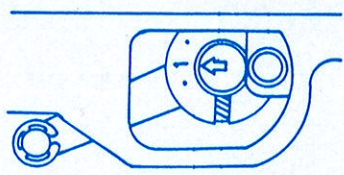


送り目の調節はP17参照

<p>●針糸が弱い・又は下ルーバー糸が強い場合</p>  <p>針糸 下ルーバー糸</p> <p>裏 表</p> <p>強める 弱める</p> <p>針糸調子器 下ルーバー糸調子器</p>	<p>●下ルーバー糸が弱い・又は針糸が強い場合</p>  <p>針糸 下ルーバー糸</p> <p>裏 表</p> <p>弱める 強める</p> <p>針糸調子器 下ルーバー糸調子器</p>
---	--

6 2本糸巻きロックとして使用する場合

6-1 2本糸巻きロックの場合の各部のセット

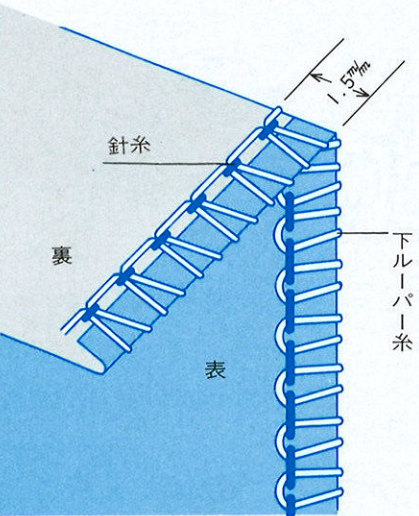
<p>①交換ルーバー</p> 	<p>②切換糸案内</p> 	<p>③上ルーバー糸</p>  <p>2本糸の場合、上ルーバー糸は使用しない。上ルーバー糸を上ルーバーの所で切り、図の様に糸調子器にはさむ。</p>
<p>④クイックレバー</p>  <p>針板 調節爪 クイックレバー</p>	<p>⑤かがり幅指針</p> <p>指針の黄線をM線セット</p>  <p>指針の黄線 M線</p> <p>かがり幅の調節はP15参照</p>	<p>⑥送り目</p>  <p>送り目の調節はP17参照</p>

6-2 2本糸巻きロックの糸調子のとり方

糸調子のとり方は布地の種類や使用糸の太さ、種類によっても異なりますのでそのつど縫い目を見ながら各糸調子器で調節してください。

又、「2本糸巻きロック」の場合、「2本糸普通ロック」の糸調子よりも、強めに針糸調子器、及び下ルーバー糸調子器をセットしてください。

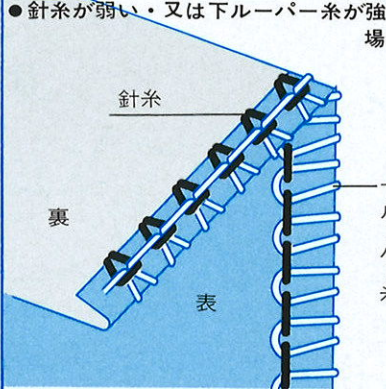
美しいかがり目



針糸
裏
表
下ルーバー糸

1.5mm

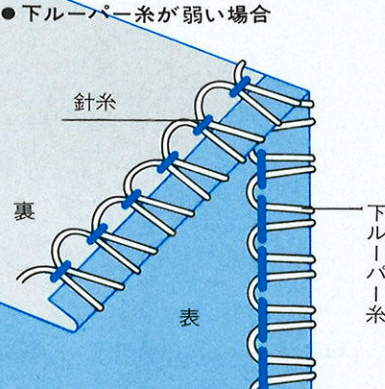
●針糸が弱い・又は下ルーバー糸が強い場合



針糸
裏
表
下ルーバー糸

強める (針糸調子器)
弱める (下ルーバー糸調子器)

●下ルーバー糸が弱い場合



針糸
裏
表
下ルーバー糸

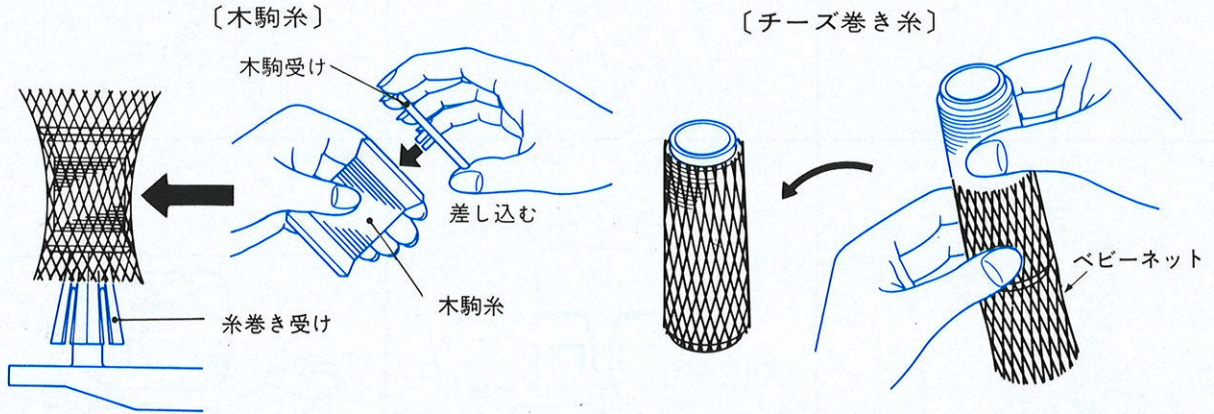
そのまま (針糸調子器)
強める (下ルーバー糸調子器)

7 使用糸と簡単な糸交換

7-1 使用糸

このマシンには普通チーズ巻き（又コーン巻き）の糸を使いますが、木駒糸もお使いになれます。この場合、次のように付属の木駒受けを木駒の穴に差し込んで糸巻き受けの上ののるようにセットしてください。

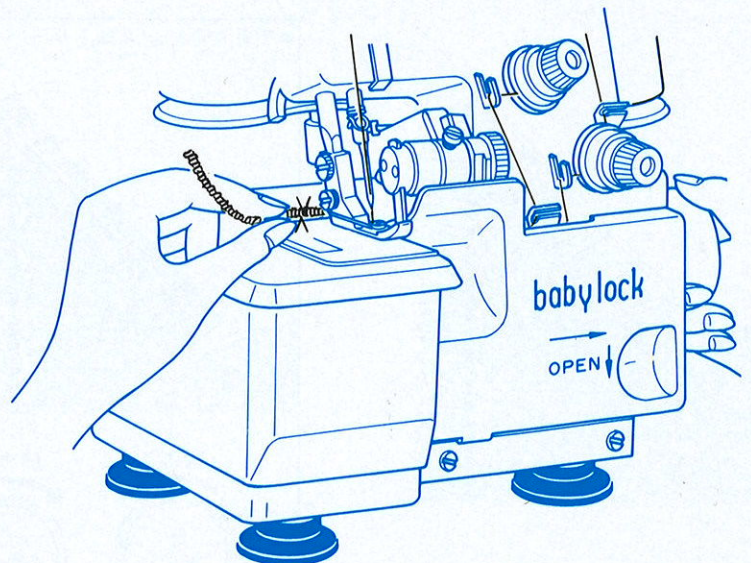
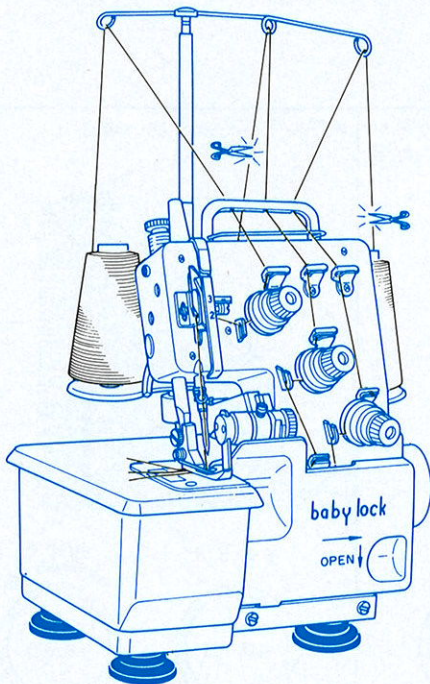
又、化繊糸などのほつれやすい糸は、付属のベビーネットをご使用下さい。



7-2 簡単な糸交換

このマシンはあらかじめ糸がセットされておりますが、使用中の針糸、上ルーパー糸あるいは下ルーパー糸を、色系など別の糸と交換してお使いになる場合は、次のようにしていただくと便利です。

- ①上ルーパー糸及び下ルーパー糸を糸巻きの近辺で図のように切り、交換する糸と結ぶ。
- ②上・下ルーパー糸の結び目が押え金のうしろに出るまで空縫いする。
- ③針糸を好みの糸にかけ換える。



8 かがり幅の調節

3本糸・2本糸普通ロックの場合、素材又はお好みに応じて、かがり幅を2.5^m~5.3^mまで変える事が出来ます。

以下の手順に従って、正しく調節してください。

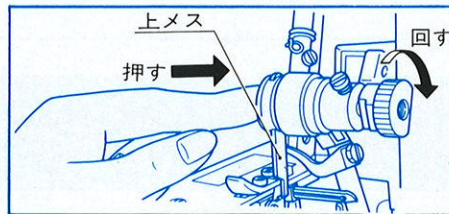
①メスカバーを開く。



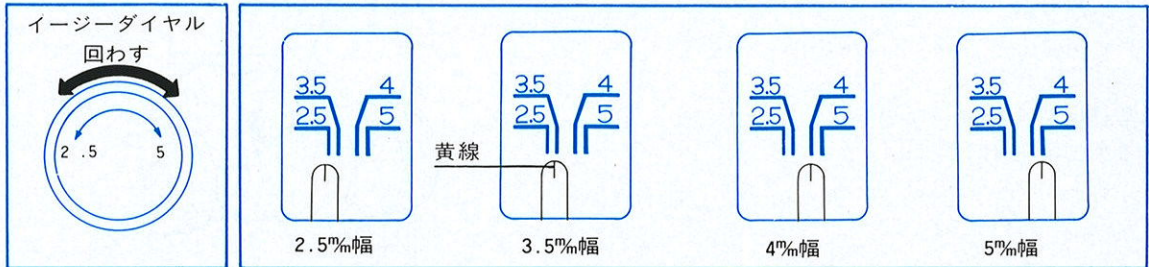
②針及び押え金を上にあげ、針板爪の空環を外す。



③上メスを押しながら、上に回転させる。



④イージーダイヤルを回して、指針の黄線を希望のかがり幅にセットする。



※指針の黄線を★線に合せると最大5.3mmのかがり幅にセット出来ます。

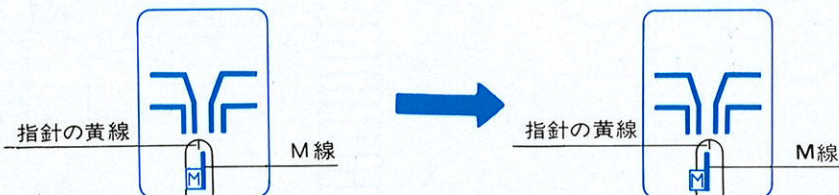


⑤上メスを元の位置に戻し、押え金をさげる。



⑥メスカバーを閉める。

★巻きロックの場合、通常指針の黄線をM線に合わせますが、伸びやすい素材やバイヤスの場合 M線の位置より少し右の方に指針の黄線をセットした方が、きれいに仕上がる場合があります。



9 補助押えの調節

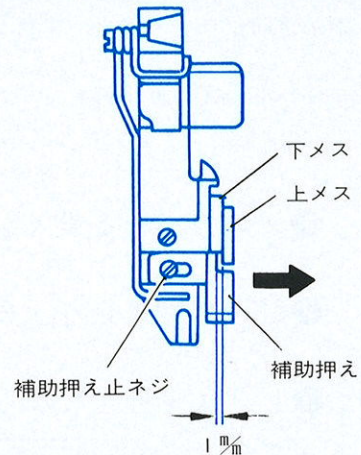
通常、補助押えの調節の必要はありませんが、薄物を4mm以上の幅でかがる時布端がバタつく事があります。

その場合は補助押え止ネジをゆるめ補助押えを右へ移動させますが、補助押えと上メスの隙間は1mmでいど開けておきます。

(かがり幅が4mmより狭い場合は補助押えの調節は必要ありません。)

注意

- 再びかがり幅を4mm以下に戻す時は、必ず、補助押えも、元に戻して下さい。



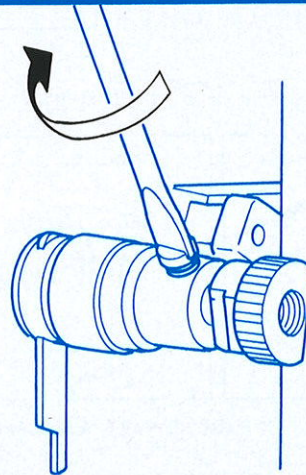
10 極厚物・段縫いについて

このミシンは、薄物から厚物まで、はば広く縫えるようになっていますが、極厚物、段縫いのときは、図のように上メスロックネジを締めてください。

ロックネジは上メス最下点で締めてください。

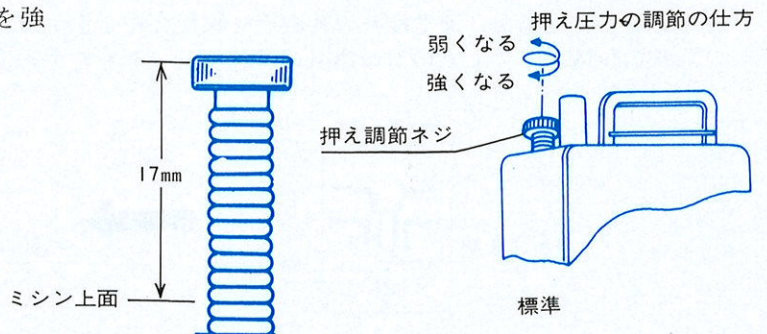
注意

- 通常縫いや薄物縫いの場合は、このネジをゆるめてご使用下さい。



11 押え圧力の調節

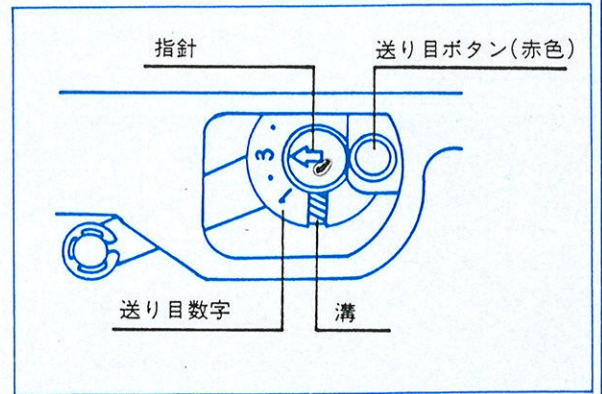
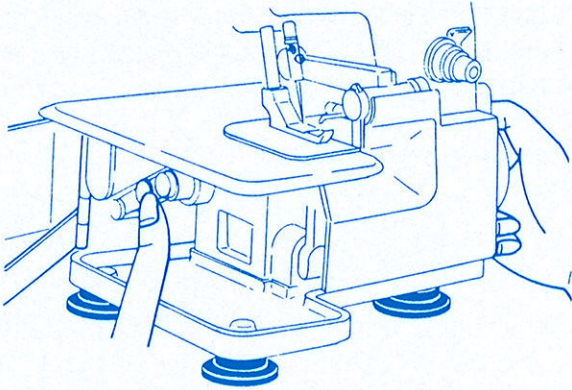
このミシンはすでに押え圧力を標準（中厚物用）に調節してあります。極薄物、極厚物の場合のみ調節してください。薄い生地には押え圧力を弱くし、厚い生地には押え圧力を強くします。



12 送り目の調節

送り目の調節は下側面カバーを開いて行ないます。

- ① 左手で送り目ボタン(赤色)を強く押しながら、溝に送り目ボタンがパチンと入るまで、右手ではずみ車を廻らす。
- ② 送り目ボタンが溝に入ったまま(送り目ボタンを押し続けた状態で)、再び、はずみ車を廻らすと、指針が動きます。この時、指針を希望の送り数字に合わせる。

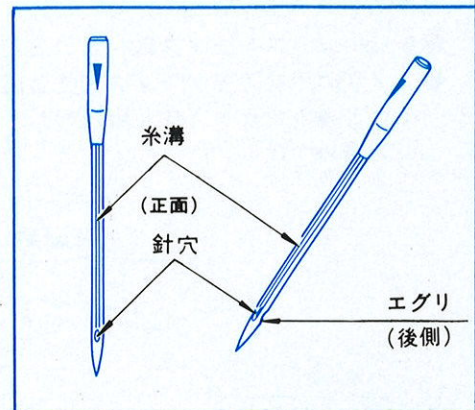
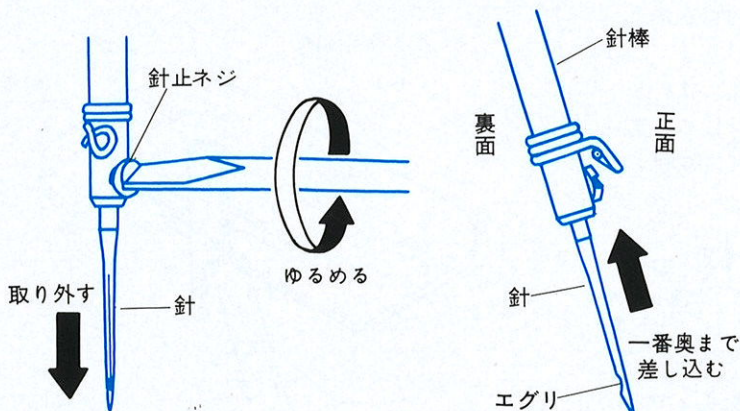


13 針の交換

はじめに必ず電源プラグを抜いてから作業してください。

- ① はずみ車を矢印方向に回し、針を上にあげる。
- ② 針止ネジをゆるめて、針を取り外す。
- ③ 付属の新しい針の黄▼マークを必ず手前(エグリの有る方は後側)にして、針棒穴の一番奥まで差し込み、針の向きが狂わないように手で押え、針止ネジを固く締める。

※尚、市販でお求めになったDC×1針には、この▼マークがありません。従って市販針を取り付ける場合は、必ずエグリの有る方を後側(向こう側)にして下さい。

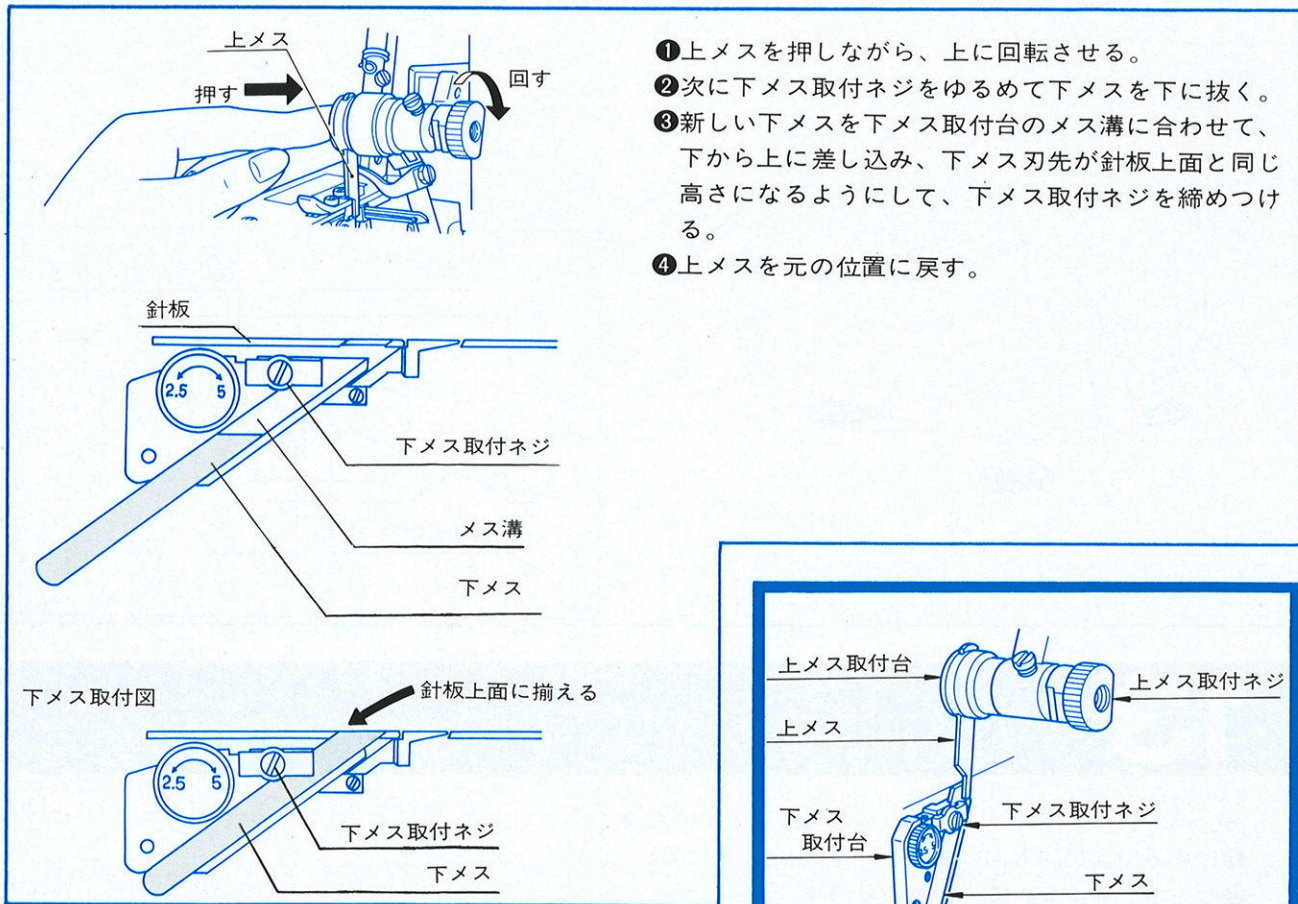


14 メスの交換

はじめに必ず電源プラグを抜いてから作業してください。メスは消耗品ですので切れなくなったら交換してください。

メスが切れなくなった場合通常下メスを交換してください。

14-1 下メスの取りかえ方



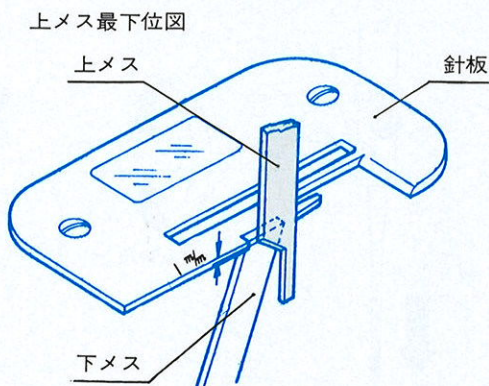
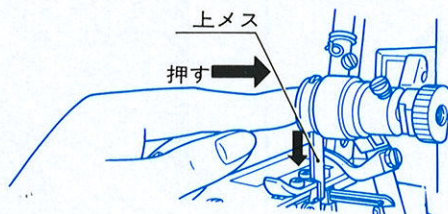
- ①上メスを押しながら、上に回転させる。
- ②次に下メス取付ネジをゆるめて下メスを下に抜く。
- ③新しい下メスを下メス取付台のメス溝に合わせて、下から上に差し込み、下メス刃先が針板上面と同じ高さになるようにして、下メス取付ネジを締めつける。
- ④上メスを元の位置に戻す。

14-2 上メスの取りかえ方

(上メスは長寿命の特殊な材質が使われていますので通常交換の必要はありません。)

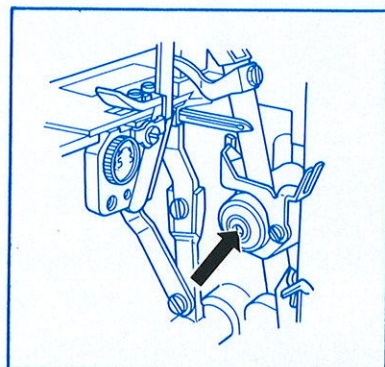
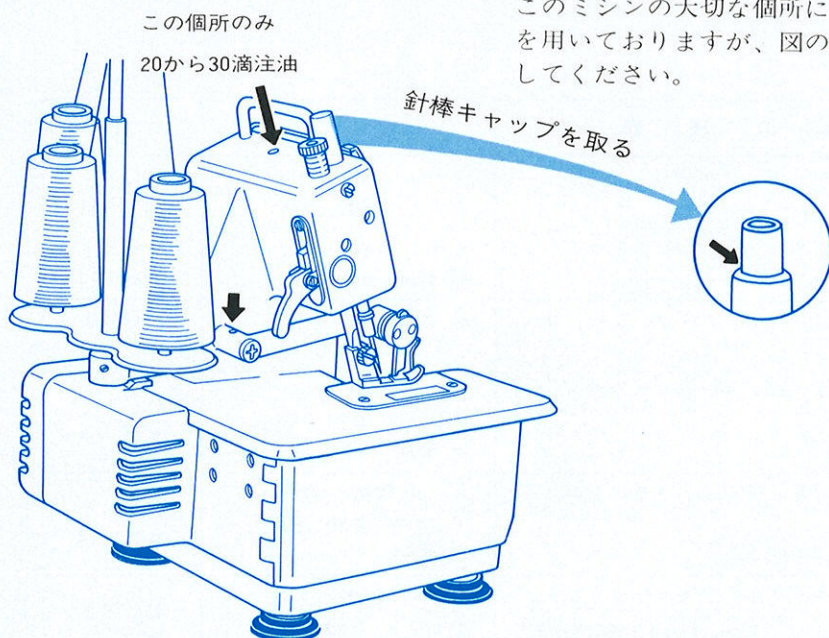
上メスがいちばん下った位置で行なってください。

- ①上メス取付ネジをゆるめて、上メス取付台を右へ押し上メスを下に抜く。
- ②新しい上メスを上メス取付台に上から差し込む。
- ③上メスの手前刃先が下メス刃先位置に対して1mmでいど噛み合うように位置決めし、上メス取付ネジを締めつける。



15 注油について

このミシンの大切な個所にはすべて特殊な材料（含油メタル）を用いておりますが、図の矢印の個所に定期的に1～2滴注油してください。



16 点検と調整

- ① ミシンが動かないとき
 - 電源プラグは差し込んでありますか。
 - コントローラーのソケットは差し込んでありますか。
- ② 糸が切れるとき
 - 糸のかけ方は正しいですか。
 - 糸調子が強すぎませんか。
 - 針が曲がっていませんか。
 - 針受に傷がついていませんか。
 - 押えの強さは適当ですか。
 - 針の種類や取り付け方がまちがっていませんか。
- ③ 目とびするとき
 - 針が曲っていたり、針先がすり減ったりしていませんか。
 - 針を正しく取りつけましたか。
 - 糸のかけ方は正しいですか。
 - 押えが弱いではありませんか。
- ④ 縫い目の調子が悪いとき
 - 針糸・上ルーバー糸・下ルーバー糸の張力調整はじゅうぶんですか。
 - 糸のかけ方は正しいですか。
- ⑤ 針が折れるとき
 - 針が針板、針受、押えなどにぶつかっていませんか。
 - 針の種類や取り付け方がまちがっていませんか。
- ⑥ メス切れが悪いとき
 - 下メスが摩耗していませんか。
- ⑦ クイックレバーが動かないとき
 - 指針の黄線が★線と合っていますか。
 - 針最下点になっていますか。

17 布地と糸の関連表

〔普通ロックの場合〕

	布地の種類	糸	針
木綿 麻	〔薄地〕 ボイル、ローン、ブロード、ギンガム、亜麻など	テトロン #100 スパン #90	DC×1 #7~11
	〔厚地〕 オックスフォード、デニム、キルティン、ギャバジンなど	スパン #90~60 綿 #80~60	DC×1 #11~14
絹 毛	デシン、クレープ、オーガンジー、サテンなど	絹 #100 テトロン #100	DC×1 #7~11
	〔薄地〕 トロピカル、ポーラ、ポプリンなど	スパン #90 テトロン #80 綿 #80	DC×1 #11
	〔普通地〕 サージ、ギャバジン、フラノなど	スパン #90~60 テトロン #80~60 絹 #50	DC×1 #11~14
	〔厚地〕 ペロア、キャメル、アストラカンなど	スパン #60 テトロン #60~50 絹 #50 綿 #60~50	DC×1 #14
化繊 混紡	〔薄地〕 ジョーゼット、ボイル、サテンなど	スパン #90 テトロン #100	DC×1 #11
	〔厚地〕 タフタ、ツイル、ベネシャンなど	スパン #90 テトロン #80~60	DC×1 #11~14
	トリコット (化繊、合繊)	スパン #90 テトロン #80~60	DC×1 #9~11
	ジャージ (毛、合繊)	スパン #60 テトロン #60 ウーリー糸(ナイロン・テトロン)	DC×1 #11~14
	毛糸編地	スパン #60 テトロン #60~50 ウーリーナイロン ウーリーテトロン 極細毛糸	DC×1 #14

〔巻きロックの場合〕

	布地の種類	糸	針
木綿	ボイル、ローン、ブロード、ギンガムなど	テトロン#80とウーリーナイロン スパン #90~80 テトロン #80	DC×1 #7~11
絹	デシン、クレープ、オーガンジー、サテンなど	テトロン #100 絹 #100	
化繊	ジョーゼット、ボイル、サテンなど	テトロン#80とウーリーナイロン テトロン #100	

梱包明細

1. ミシン (モーター付)
2. コントローラーセット
3. ビニールカバー
4. ご使用のてびき
5. 保証書
6. アクセサリー・ボックス

ドライバー(マイナス用)
 針 DC×1
 下メス
 ピンセット
 掃除用ブラシ
 針糸通し
 油差し
 木ゴマ受け
 ベビーネット
 ラクラク糸通し

BL3-408型仕様表

基本項目	仕様
かがり巾	3本糸・2本糸普通ロック 2.5 ^m / _m ～5.3 ^m / _m 3本糸・2本糸巻きロック 1.5 ^m / _m
縫い目(送り目)	1 ～ 5 ^m / _m
針棒ストローク	25 ^m / _m
メス上下量	6.5 ^m / _m
押え上り量	5 ^m / _m
送り歯高さ	0.7 ^m / _m (標準)
使用針	DC×1 #7～#14
使用糸本数	3本、2本
給油方法	油芯装置付手差方式
ミシンの大きさ	タテ 250 ^m / _m ヨコ 250 ^m / _m 高さ 280 ^m / _m
ミシンの重さ	7kg (モーター付完成品)

